DAVE v6

「DAVE v6」は、MacintoshとWindowsを接続するためのネットワークソリューションです。
Macintoshに「DAVE v6」をインストールするだけで、Windowsクライアントと同様にWindowsネットワークを利用することが可能になります。

ADmitMac v3 アドミットマック v3（日本語版）

MacintoshのためのWindowsネットワークソリューション

待望のTiger対応

「DAVE v6」は、Mac OS X 10.4（Tiger）に対応しました。Mac OS X標準の機能では、使い勝手や機能に満足できない環境を、DAVEのセキュリティと高度な機能をご利用いただけるようになりました。

Macintoshを、Windowsネットワークに接続

「DAVE v6」は、Windowsのファイル共有ネットワークプロトコルであるCIFS／NetBIOSプロトコルを、Macintoshにシームレスに追加します。
Macintoshは、Windows同等のクライアント機能およびファイル／プリンタ共有機能を持つことができ、TCP/IPで構築されたWindowsネットワークにMacintoshを違和感無く配置する事が出来ます。

経済性

DAVEは、特別な追加ハードウェア無しに、MacintoshにWindowsの共有機能を付加します。Windowsで構築されたネットワークにMacintoshを追加する際には最適です。

強化されたセキュリティ

昨今のセキュリティに対する要求により、Windows Server 2003ではSMBデジタル署名やNTLMv2によるセキュリティポリシー、認証のKerberos化処理が既定として設定されています。「DAVE v6」では、これらに既定で対応し、さらに、NTLMSSPにも対応します。この設定は、ユーザが、自社のポリシーに合わせて変更する事も容易です。また、NTドメインへのログオン機能を有するので、Macintosh上のフォルダやプリンタを公開する際に、NTドメイン認証を利用する事も、マシン個別のセキュリティ設定を行う事も可能です。

接続先の違いを意識させない接続環境を実現

Macintosh上でフォルダを公開するには、DAVE Sharingでフォルダを指定し、セキュリティオプションを設定するだけです。Windows上では、共有にアクセスするのはマイネットワークを開くだけで、接続先がMacintoshかWindowsかを意識する事はありません。Macintoshから、Windowsの公開フォルダを開くには、Macintosh純正のネットワーク機能と同じく、『サーバへ接続』を選ぶだけです。PostScriptプリンタは双方向で共有が可能です。Mac OS Xであればインクジェットプリンタを公開する事も可能です。

主な機能と特徴

●双方向でのデータ共有を実現
MacintoshにWindows標準の共有機能を追加して、双方向でデータを共有出来ます。

●専用サーバ不要の経済的なソリューション
Macintoshのソフトウェアで実現した機能なので、無駄なハードウェア投資が要りません。

●幅広いOSをサポート
MacOS 8.6から9.2x、Mac OS X 10.3.xから10.4.xまで、接続先のWindowsは95から98/Me、さらに、Windows NT4/2000/XP/2003に対応しています。

●高度なセキュリティに対応
SMBのデジタル署名に対応したことで、仲介者攻撃等から通信を保護する事が出来ます。Windows 2000から導入されたNTLMv2、また新たにNTLMSSPにも対応し、さらに、Windows Server 2003で既定になっているKerberos認証にも対応した事で、NTドメインのWindowsサーバにログオンする際に、たとえ通信を盗聴されてもユーザ認証を解読されない高度なセキュリティを確保する事が出来ます。

●MacOSXのClassic環境からもアクセスが可能
Carbon/Cocoa未対応のシステム併用される場合にも対応します。Mac OS X 10.3および10.4のClassic環境アプリケーションからも、Windowsリソースにアクセスが可能です。

●PostScriptプリンタの双方向の共有と、インクジェットプリンタの公開（MacOSXのみ）
PostScript対応プリンタに関しては、Macintosh／Windowsのどちらからでも公開する事が出来ます。また、Mac OS Xに接続されたインクジェットのプリンタを、Windowsネットワーク上に公開する事も出来ます。

●Windowsのショートカットのサポート
Macintoshで、マウントしたWindows共有内のショートカットファイル（.LINK）をダブルクリックすると、Windows上と同様、その実体にアクセス出来ます。ファイル整理等のために、ショートカットを使用していても、何も問題無くMacintoshからの共同作業が出来ます。

●NTドメインのサポート
NTドメインへのログオンをサポートしていますので、一度、認証すれば、信頼されたサーバについての再認証は不要です。Windows NTサーバのドメイン形式に対応していますので、Macintosh混在環境であっても、サーバのバージョンアップ等、システム移管をスムースに進める事が出来ます。

●パスワード管理
NTドメインログイン時のパスワード変更やパスワード有効期限の変更、パスワード失効時の処理を、Windowsクライアントと同様、管理者の負担も無くエンドユーザに任せる事が出来ます。

●アクセス保護されたツリー内のディレクトリのマウント
ディレクトリの公開設定、サブディレクトリのアクセス権設定という手順で行われる事の多いユーザディレクトリの割当作業も、平易を変更すること無く、実行可能です。

●DFS共有のサポート（Mac OS X）
企業内ネットワークで、サーバを分散するために必要なDFSに対応しています。エンドユーザに、サーバを個別に意識させる事無く、統一したネットワーク環境を提供出来ます。
（10.4上では、今後、Apple社により提供される10.4のアップデートが必要です）

●Windows 95/98/Meとのファイル共有
Mac OS X標準機能とは異なり、これらのWindows環境の日本語ファイル名もサポートしています。

機能	機能詳細	Mac OS X 10.3 (Panther)	Mac OS X 10.4 (Tiger)	DAVE v6	コメント
Mac OS 9のサポート		×	×	○	
NTドメインサービスに関するユーザ機能	ネットワークへのユーザログイン	○	○	○	
	ユーザによるパスワード変更	○	○	○	
CIFSクライアント	認証のKerberos化	○	○	○	＊1 OS Xでは、文字コードがUNICODEに設定されている為、Windows9x/Meのファイル名の扱いに問題があります。 ＊2 DAVEは、サーバのLanManポリシーと同じものを使用します。 ＊3 DAVEでは、管理者が署名ポリシーを設定することができます。 ＊4 Pantherでは、LanManのパスワードハッシュの送信をとめる手段はありません。システムの脆弱性に繋がります。 ＊5 OS Xでは、サーバのタイムアウト後再接続されず、切断されます。 ＊6 OS Xでは、DFSのサポートはされません。
	Windows9x共有へのアクセス	△（＊1参照）	△（＊1参照）	○	
	Windowsショートカットのサポート	×	×	○	
	Classic環境からのアクセス	×	×	○	
	NTLMv2のサポート	×	○	○（＊2参照）	
	NTLMSSPのサポート	×	×	○（＊3参照）	
	デジタル署名	×	×	○（＊3参照）	
	ログイン時のマウント	LanMan及びNTLMv1を使用（＊4参照）	LanMan及びNTLMv2を使用	○	
	長時間のスリープ状態からの再接続	×（＊5参照）	×（＊5参照）	○	
	DFS（分散ファイルシステム）へのアクセス	×（＊6参照）	×（＊6参照）	○	
	NTFSストリームのサポート	×	一部サポート	○	
	公開された共有のブラウズ機能	×	×	○	
	サーバのブラウズ機能	○	○	○	
CIFSサーバ	3段階の共有セキュリティ：ユーザ、共有、ローカル	×	×	○	＊7 OS Xでは、ユーザのホームフォルダのみ共有可能です。プリンタは共有できません。
	Macintosh上の任意のフォルダを共有	×	×	○	
	Macintosh上の任意のプリンタを共有	×（＊7参照）	×（＊7参照）	○	
	プリンタのブラウズ機能	信頼性が低い	○	○	
CIFSプリントクライアント	公開されたプリンタを検出し設定	×	×	○	

2004年09月版 T3SB番号

MacintoshをActive Directoryに統合。最高水準のネットワークセキュリティ。

Active Directoryのスキーマに変更を加えずに、Macintoshをドメインに追加

基本的な設定がなされたActive Directoryサーバに、そのままの状態で接続が可能です。Macintosh専用の修正は不要になっています。

HomeMoverアプリケーション　新機能

ローカルアカウントの変換処理と、ホームフォルダの変換処理を分離し、ユーザホームフォルダを移動複製するためのHomeMoverアプリケーションを新規に追加しました。HomeMoverは、ローカルアカウントのファイルを変換して、ドメインユーザアカウントで使用できるようにするのを助けます。具体的には、ドメインアカウントホームフォルダ用に、既存のローカルホームフォルダをコピーするか、または移動し、更にそれらの所有権を変更します。

AD Commander

「AD Commander」は、Macintoshで稼動する、Active Directoryドメインのアカウント管理ツールです。Macintoshをご利用の管理者からドメインにアクセスし、ユーザアカウント情報の更新を行えます。

ノートユーザのための認証情報のキャッシュ

ADmitMac v3は、正常にログインした認証情報をキャッシュできます。これによってMacintoshがドメインに接続されないときでも、ノートブック・モバイルユーザは、ドメインアカウントでログインすることができます。

セキュリティ

ADmitMac v3は、管理者がネットワークセキュリティを定義した、マルチユーザ、マルチコンピュータ環境のために開発されました。最高水準のセキュリティをサポートすることで、Windows Server 2003に対してもセキュリティの格下げを必要としません。そして、Kerberosを使った安全なディレクトリアクセスを提供し、予期せぬ開示、成り済ましし、仲介者攻撃等の危険性を排除しています。
ADmitMac v3は、Kerberosを使用できるよう自動的にMacintoshを構成して、ドメインから必要なセキュリティキーを入手し、サーバの身元保証を提供する相互認証を実行します。より旧形式のNTディレクトリサービスでも動作します。但し、その際には、NTドメインコントローラとの通信は、すべてSMB/CIFSプロトコルで実行されます。

ADmitMacデプロイメントユーティリティ

大量導入時のデプロイメント（配布）のためのカスタムインストーラを作成するツールです。設定をWebサーバに保存できる等、先進の機能を搭載しています。

Windows PCとMacintosh間のファイルとPostScriptプリンタの双方向共有（Mac OS Xのみインクジェットプリンタの公開可）

MacintoshにWindows標準の共有機能を追加して、双方向でデータを共有できます。また、PostScript対応プリンタに関しては、Macintosh/Windowsのどちらからでも公開することができます。Mac OS Xであればインクジェットプリンタを、Windowsネットワーク上に公開することもできます。

ADmitMac v3は、Mac OS X 10.3.x（Panther）、またはMac OS X 10.4.2以降（Tiger）で稼働しているMacintoshを、Microsoftネットワークに参加させ、MacintoshユーザにActive Directory、NTドメイン、およびアップルのWork groupマネージャディレクトリサービスといったディレクトリサービスを受けられるようにします。この機能によって、管理者は、ドメインユーザが利用するコンピュータの種類に関わらず、ユーザを一貫した方法で管理できます。つまり、ADmitMacを使えば、ユーザは、自分のドメイン認証を使ってMacintoshにログインし、自分のホームディレクトリ上のファイルにアクセスできます。

機能	機能詳細	Mac OS X 10.3 (Panther)	ADmitMac 2.x	Mac OS X 10.4 (Tiger)	ADmitMac v3.x	コメント
ディレクトリサービスの構成	LDAP機能	Kerberos	Kerberos+暗号化	Kerberos	Kerberos+暗号化	●LDAP機能 ADmitMacは、署名され、暗号化されたLDAP通信により、ユーザの個人情報を保護し、仲介者攻撃を防ぎます。 ●フォレストのフルサポート 新一のフォレストがActive Directoryドメインをサポートします。 ●UIDの属性マップ Services for Unixと同様の機能です。 ●管理者グループの指定 ドメインユーザをログイン時に管理グループに追加する機能です。
	フォレストのフルサポート	○	○	○	○	
	MIT realmとの相互信頼	×	○	×	○	
	ユーザ認証のキャッシュ	○	○	○	○	
	NT形式ドメインのサポート	×	○	×	○	
	最適なドメインコントローラの検出	×	○	○	○	
	UID属性のマップ	○	○	○	○	
	管理者グループの設定	○	○	○	○	
	逆引きDNS無しで動作可能	×	○	○	○	
	localドメインのサポート	LDAP機能はサポートされていますが、機能はアクティブではありません。	○	○	○	
マネージドデスクトップとワークグループマネージャ	設定をActive Directoryユーザ、Open Directoryユーザ、グループとコンピュータに適用	△（スキーマ変更が必要）	○	○（但し、ADのスキーマに変更が必要（別途購入））	○	ACLは、Tiger上でのみサポートされます。
	Windows PCからマネージドデスクトップ設定を設定	×	○	×	○	
	MacintoshからActive Directoryユーザ、グループ、コンピュータを管理	×	○	×	○	
	ACL設定のサポート	×	×	○	○	
ディレクトリサービスのユーザ側の機能	グループのサポート	○	○	○	○	
	リセット後のログイン時にパスワードを再設定	○	○	○	○	
	ログイン時に期限切れパスワードの処理	○	○	○	○	
	ログイン時間帯の制限	○	○	○	○	
	ユーザがパスワードを変更可能	○	○	○	○	
CIFSクライアント	NTLMv2のサポート	×	○	○	○	＊1 但し、サーバでデジタル署名がオフになっていること（仲介者攻撃の可能性あり） ●DFSのサポート Tigerには、DFSのサポートは含まれません。
	NTLMSSPのサポート	×	○	×	○	
	デジタル署名	×	○	×	○	
	ログイン時にマウント	LanManとNTLMv1を使用	○（Kerberos）	LanManとNTLMv2を使用	○（Kerberos）	
	Windowsのユーザホームディレクトリを、Macでも使用する	△（手動）	○	○（＊1参照）	○	
	アクセス保護されたツリー内部のホームディレクトリのマウント	×	○	×	○	
	クライアントマシン上のホームフォルダの移動またはコピー	×	○	×	○	
	高度のブラウザアプリケーション	×	○	×	○	
	長時間のスリープの後の再接続	×	○	×	○	
	DFSのサポート	×	○	×	○	
	NTFSファイルストリームのサポート	×	○	△（一部サポート）	○	
	・Finder情報	×	○	○	○	
	・リソースフォーク	×	○	×	○	
	公開された共有のブラウザ	×	○	×	○	
	長い所有名	×	×	○	○	
CIFSサーバ	CIFS/SMBサーバの構築	Series 1	独自の完全実装	Series 1	独自の完全実装	
	認証セキュリティ	×	×	×	○	
	NTFSサポート	×	○	×	○	
	デジタル署名	×	○	×	○	
	パススルー認証	×	○	×	○	
CIFSプリントクライアント	プリンタのブラウズ	△（手動設定）	○	○	○	
	プリンタの手動追加	×	○	○	○	
	プリントクライアントは公開されたプリンタを検出して設定	×	○	×	○	

2004年09月版 T3SB番号